

WE'RE FOR CREATORS™

2020年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

2020年7月16日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

対前年同期比で減収減益

2020年第1四半期連結業績

売上高	：	1,706百万円	（前年同期比	▲257百万円）
営業利益	：	▲54百万円	（前年同期比	▲97百万円）
経常利益	：	▲307百万円	（前年同期比	▲330百万円）

■ 売上高減少要因

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の拡大の影響を受け、

1. 旧正月以降、中国の関係工場の稼働率が低下したことにより製品が供給不足となり一時的に販売数量が減少
2. 南ヨーロッパの小売店がロックダウンの影響で閉鎖したことにより一時的に販売子会社であるMogarの売上高が減少

■ 経常利益減少要因

- ・ 持分法適用会社であるZOOM UK Distribution Ltd（以下、ZUK）が倒産法に基づくアドミニストレーションの申請を行ったことに伴い、持分法による投資損失240百万円を営業外費用に計上
- ・ なお、ZUKの現地倒産法適用による関連コストは当第1四半期に全て費用計上済みであるが、アドミニストレーションの進捗や結果等により変動する可能性あり

2020年第2四半期以降の生産・販売は、計画通りの見込み

2020年12月期 第1四半期 連結損益計算書（要約）



(百万円)

	2019.12期 第1Q実績	2020.12期 第1Q実績	増減額	摘要
売上高	1,963	1,706	▲257	1.中国の関係工場の稼働率が低下したことにより一時的に販売数量が減少 2.南ヨーロッパの小売店が閉鎖したことにより一時的にMogarの売上高が減少
営業利益 (売上高営業利益率)	42 (2.2%)	▲54 (▲3.2%)	▲97	Mogar取り扱いブランドの一部 (Ibanez、TAMAブランド) を星野楽器(株)との販売代理店契約終了に伴い整理したことにより一時的にMogarの売上総利益率が悪化
経常利益 (売上高経常利益率)	22 (1.2%)	▲307 (▲18.0%)	▲330	ZUKの現地倒産法適用により、持分法による投資損失240百万円を営業外費用に計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	13 (0.7%)	▲218 (▲12.8%)	▲232	
EBITDA	75	▲251	▲326	EBITDA=営業利益+※減価償却費+持分法投資損益
減価償却費	※31	※46	14	※のれん償却額4百万円(前年4百万円)を含む
研究開発費	200	241	41	
為替差損益	▲6	▲2	4	
平均為替レート(円/米ドル)	110.2円	108.9円	▲1.3円	

Covid-19の拡大の影響により中国の関係工場の稼働率が低下した影響大

(百万円)

	2019.12期 第1Q実績	2020.12期 第1Q実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	840	693	▲147	主力商品の生産ラインの稼働率が低下したことにより製品が供給不足となり一時的に販売数量が減少
マルチエフェクター (MFX)	248	231	▲17	
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX)	132	206	73	前年下期発売L-20R、L-8など『LiveTrak™』シリーズの販売が好調
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	153	136	▲17	
ハンディビデオレコーダー (HVR)	165	101	▲64	前期はQ2n-4Kの新製品効果
Mogara取扱いブランド	292	219	▲72	Mogaraが星野楽器（株）との販売代理店契約を終了したことによる影響
その他	130	118	▲11	
合計	1,963	1,706	▲257	

COVID-19の拡大の影響により南ヨーロッパと中国は一時的に売上高が大幅減

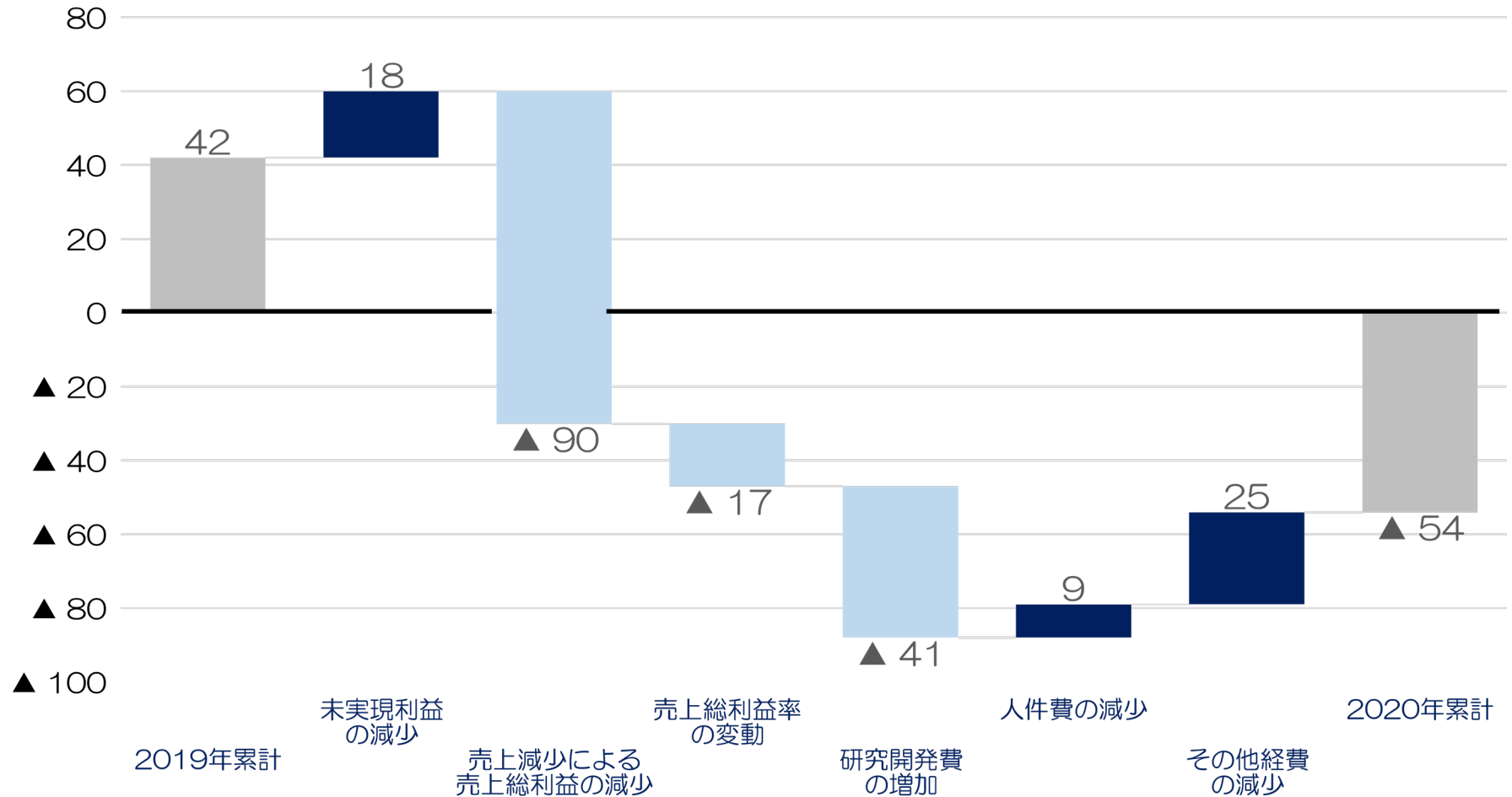
(百万円)

	2019.12期 第1Q実績	2020.12期 第1Q実績	増減額	売上高の増減要因
北 米	437	425	▲11	
南ヨーロッパ ※1	546	423	▲122	イタリアのロックダウンに伴う小売店の閉鎖等による影響
中央ヨーロッパ ※2	142	203	60	前年下期発売L-20R、L-8等、DMXカテゴリーの販売が好調
日 本	188	186	▲2	
イギリス	134	89	▲44	ZUKの現地倒産法適用による影響
中 国	79	53	▲26	COVID-19の大規模感染によるロックダウンの影響
オーストラリア	38	34	▲3	
スウェーデン	40	26	▲14	
その他	356	264	▲91	ロシア▲28、韓国▲17、フィリピン▲14
合計	1,963	1,706	▲257	

※1. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

※2. 中央ヨーロッパは、ドイツ、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

営業利益の増減分析 (百万円)



2020年12月期 第1四半期 連結貸借対照表 (要約)

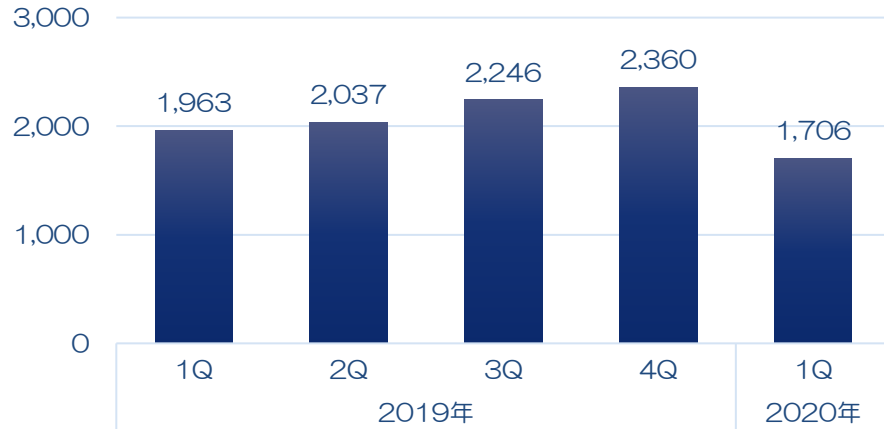


(百万円)

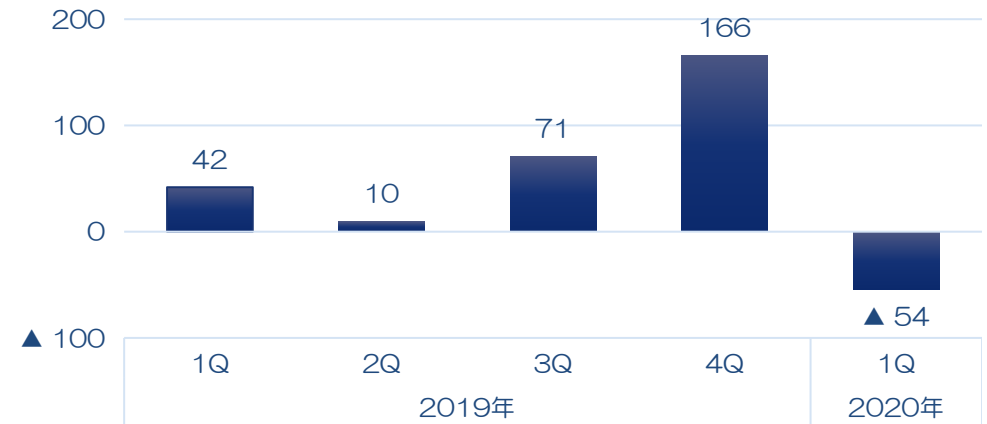
	19.12期末	20.12期 第1Q末	増減額	増減要因
流動資産	6,591	5,572	▲1,018	
現預金	2,344	2,408	64	
売掛金	1,346	917	▲429	COVID-19の大規模感染の影響により当第1四半期の売上高が減少
商品及び製品	2,063	1,582	▲480	19.12期末は旧正月前の在庫確保による増加、20.12期第1Q末はCOVID-19の大規模感染の影響により生産が減少
固定資産	1,264	1,408	143	
有形固定資産	459	442	▲16	
無形固定資産	254	240	▲13	
投資その他の資産	550	724	174	ZUKへの売掛金と貸付金の回収不能見込分を破産更生債権へ振替
資産合計	7,855	6,980	▲874	
流動負債	2,770	2,236	▲534	
買掛金	936	570	▲365	19.12期末は旧正月前の在庫確保による仕入が増加、20.12期第1Q末はCOVID-19の大規模感染の影響により仕入が減少
短期借入金	1,249	1,188	▲60	Mogar社運転資金返済
固定負債	209	184	▲25	
負債合計	2,980	2,420	▲559	
資本金	212	212	—	
純資産合計	4,875	4,560	▲314	
負債純資産合計	7,855	6,980	▲874	

2020年12月期 第1四半期 売上及び利益の推移

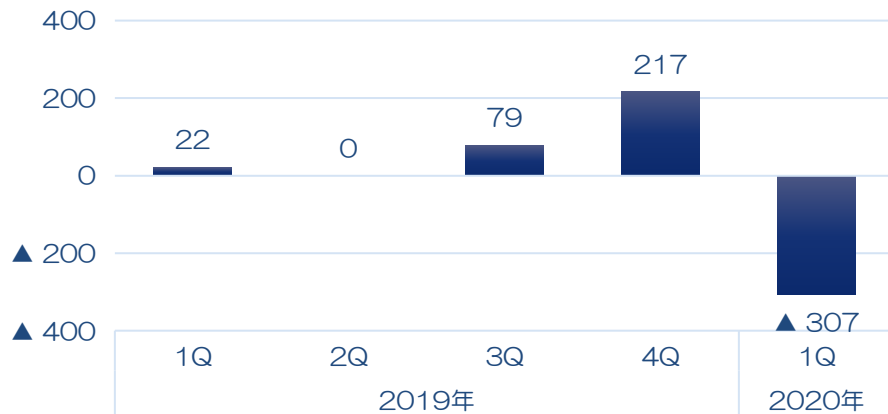
売上高 (百万円)



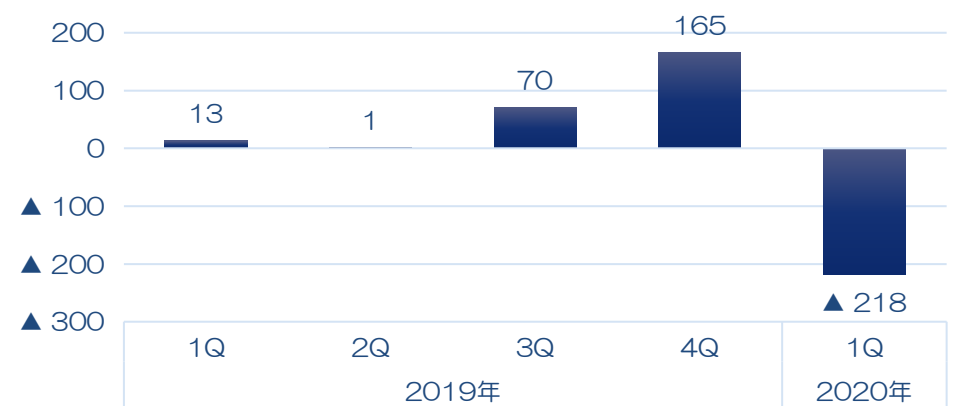
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



売上及び利益は下半期に多くなる傾向

ZNAの完全子会社化の影響等を反映

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり連結 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	8,641	301	381	299	130.19
今回修正予想 (B)	9,886	573	262	366	162.92
増減額 (B-A)	1,245	271	▲119	67	—
増減率 (%)	14.4	90.0	▲31.2	22.5	—
(ご参考) 前期連結実績 (2019年12月期)	8,608	291	318	250	110.03

<修正理由>

- 2020年4月1日付で持分法適用会社であったZNAを完全子会社化したことにより、同社の損益計算書を4月1日（2020年第2四半期連結会計期間）より連結
- ZUKの現地倒産法適用により、持分法による投資損失240百万円を営業外費用に計上
- ZNAの子会社化に伴う従来持分の評価替えにより、段階取得利益178百万円を特別利益に計上

なお、COVID-19の拡大は、当社グループの当連結会計年度の財政状態及び経営成績に大きな影響を与えるものではないと予想